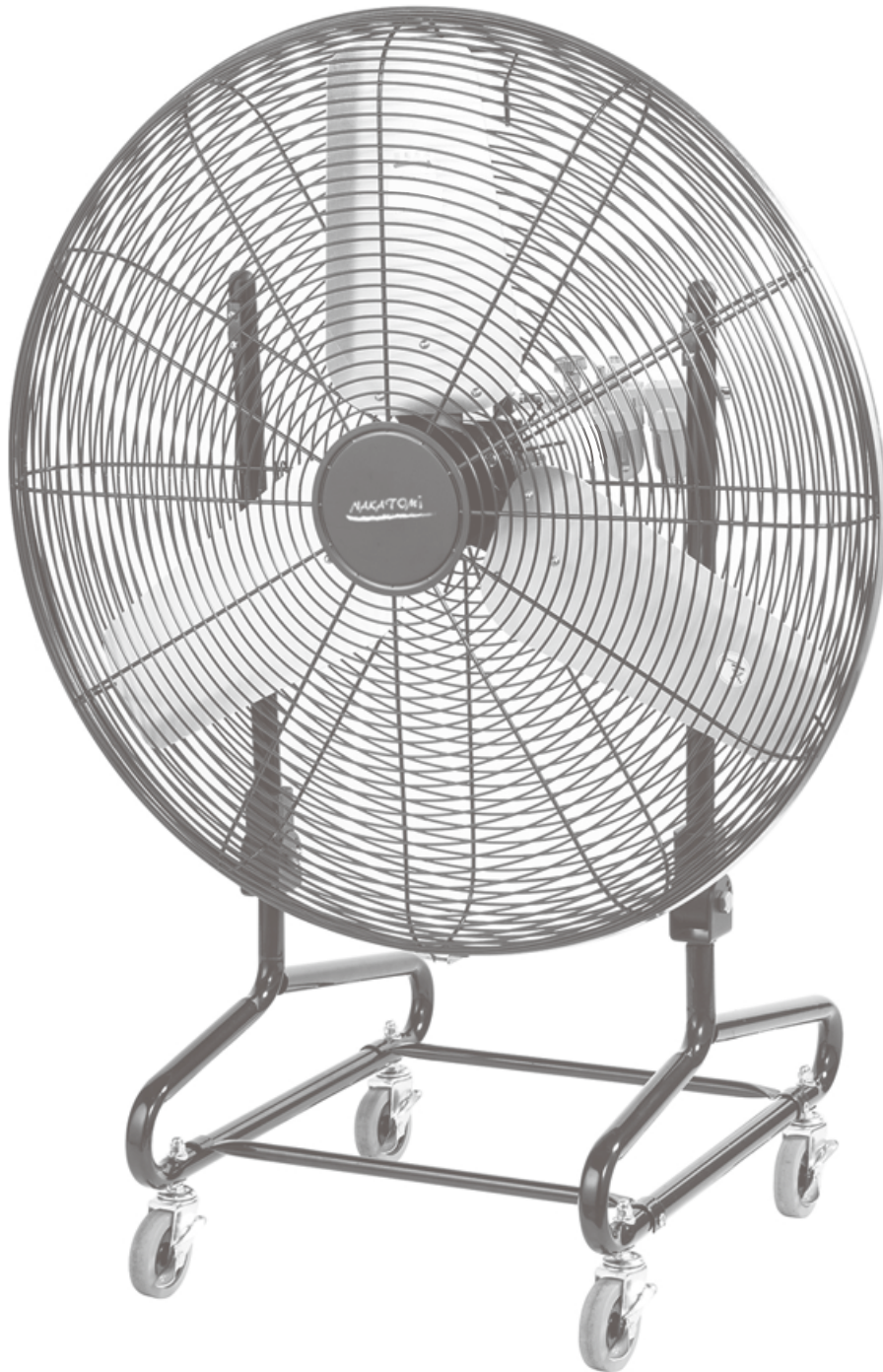


NAKATOMI

75cmエアークファンフロア式

AF-75F

取扱説明書





このたびは、弊社「75cmエアークファンフロア式 AF-75F」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。



ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

- ◆ ご使用になる前に、安全上の注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ◆ ここに示しました注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
- ◆ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。





— 表示と意味について —

表示		表示の意味
	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の例		図記号の意味
	分解禁止	⊙の記号は、禁止の行為を示します。(してはいけないこと) 具体的な禁止の内容は、文章や絵で示します。 左図の場合は、「分解禁止」を示しています。
	使用注意	●の記号は、行為を強制したり指示する内容を示しています。 具体的な強制内容は、文章や絵で示します。 左図の場合は、「使用注意」を示しています。









警告

 設置場所	平らで強度のある安定した場所に設置してください。傾斜のある場所や振動のある場所では使用しないでください。	 作業注意	組み立て・お手入れの際は手袋を着用してください。ケガの恐れがあります。
 改造禁止	修理技術者以外の人は分解・修理はしないでください。修理の際はお買い上げ販売店にご連絡ください。	 使用注意	運転中は危険ですのでガードの中に物や指を入れないでください。ケガや事故の原因となります。



エアーファンの注意

 使用注意	水分が多く含まれる圧縮空気は発錆、作動不良の原因となりますので、配管ラインにエアドライヤーを設置してください。	 使用注意	清浄な圧縮空気を使用してください。化学薬品や腐食性のガスを含む場合、破損・動作不良の原因となります。
 使用注意	引火性のある場所でのご使用の際は、静電気にご注意ください。	 使用注意	ご使用の際は必ず付属の自動給油エアーセット（エアーフィルター・ルブリケーター）を取り付けた状態でご使用ください。
 使用注意	市販のレギュレーターで圧力を調整し、使用空気圧は0.6MPa以下でご使用ください。	 作業注意	お手入れ・点検はエアーホースを外してから行ってください。
 使用禁止	傷のあるエアーホースや破裂の恐れのあるエアーホースは危険ですのでご使用にならないでください。	 使用禁止	ご使用中に回転停止・異常音・振動が発生した場合は直ちに使用を止め、お買い上げ販売店もしくはお客様相談窓口までご相談ください。

 保管注意	ご使用にならないときはエアークラスを必ず外してください。	 保管注意	保管する際は、錆防止のため、ルブリケーターよりオイルを適量ローター内に流してから温度の低いところで保管してください。
 使用注意	使用環境温度は0℃～50℃です。		




エアークラス取り付け時の注意

 作業注意	接続するエアークラスの元栓を閉じた状態で、ホース内に圧力が無い状態で接続してください。	 作業注意	接続は調整バルブが閉じていることを確認してから行ってください。
---	---	---	---------------------------------



エアークラス取り外し時の注意

 作業注意	ご使用後はエアークラスの元栓を閉め、調整バルブを開いてホース内に残ったエアークラスを排出してからエアークラスを外してください。		
---	---	--	--

【特長】

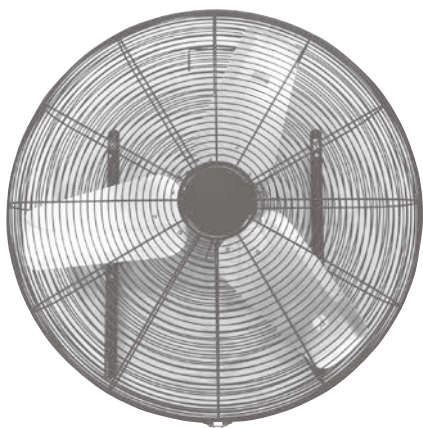
- ◆モーターが小型・軽量。
- ◆エアークラスを接続し、調整バルブを開けばすぐに始動。
- ◆調整バルブの絞りで風量を無段階に調整可能。
- ◆引火性のある場所・粉塵の多い現場でもご使用いただけます。

【仕様】

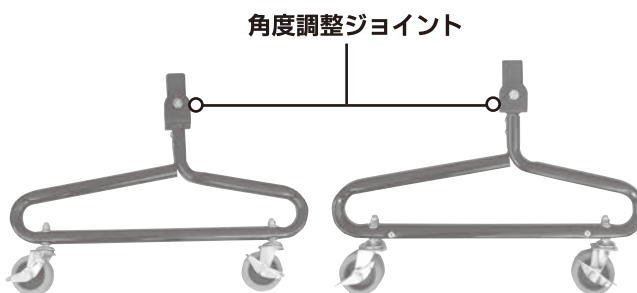
羽根径・材質	75cm アルミ3枚羽根
使用空気圧力	0.6MPa
空気消費量	210L/min
風速	240m/min
風量	300m ³ /min
回転数	680min ⁻¹
空気接続口サイズ	1/4プラグ
騒音値	75dB
推奨コンプレッサー	3馬力以上
本体寸法	幅810mm×奥行600mm×高さ1110mm
質量	約16kg

※製品の仕様は改良等のため、予告なく変更されることがあります。

【付属部品】 ※大きさは実寸比と異なります。



本体 ×1



角度調整ジョイント
キャスターASSY (角度調整ジョイント付き) ×2



補強バー×2



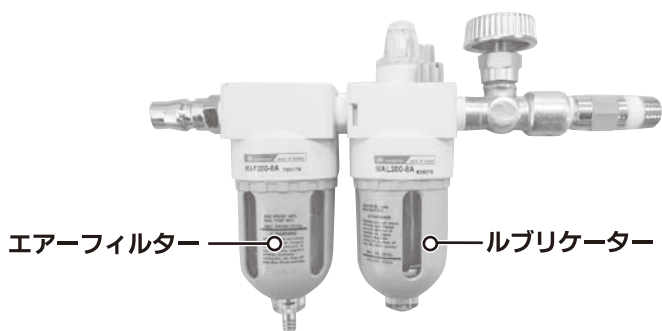
角度調整ジョイント固定ネジ
(装着済み) ×4



補強バー固定ネジ
(装着済み) ×4



固定ビス
(羽根用・予備) ×1



エアフィルター ———— ルブリケーター

自動給油エアースセット ×1



排気消音チューブ

サイレンサー

排気消音チューブセット ×1



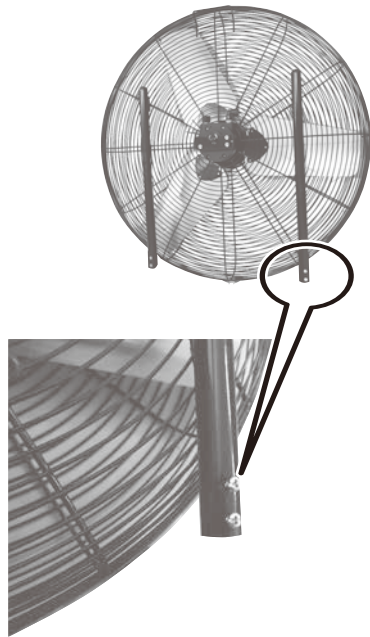
カップホルダー ×1



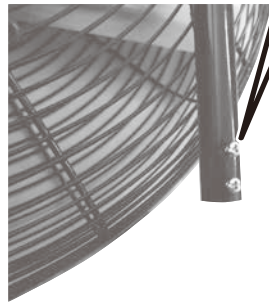
シールテープ ×1

【組立方法】

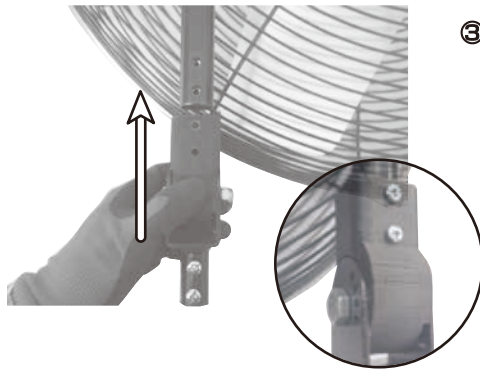
キャスターASSYの取付け



①本体がキズつかないように、ダンボール等の緩衝材を敷き、本体を下向きに置きます。

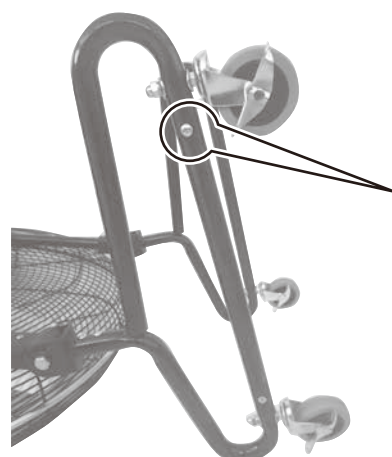


②本体に付いている角度調整ジョイント固定ネジ4個を外します。



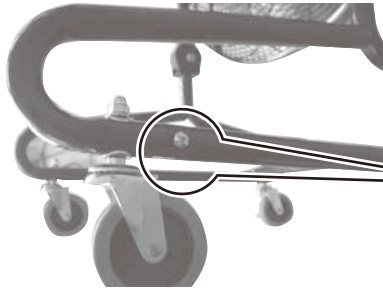
③キャスターASSYを取り付けます。

※1
補強バーを固定するネジが外側にくるように取り付けます。
本体とキャスターASSY（角度調整ジョイント）のネジ穴を合わせて②で外した角度調整ジョイント固定ネジを使って固定します。



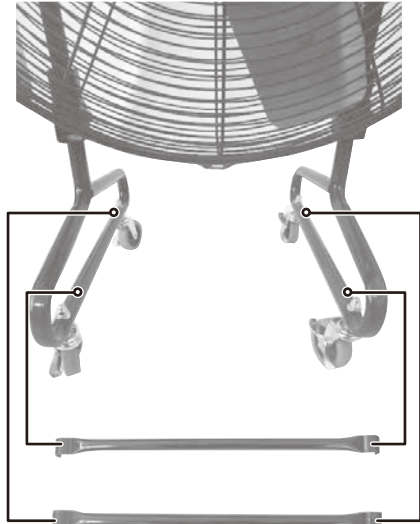
※1
補強バー固定ネジが外側にくるように取り付ける。

補強バーの取付け

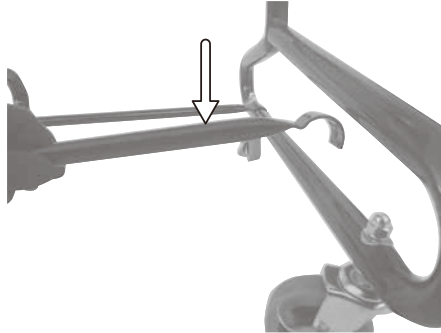


①補強バー固定ネジを4か所外します。

補強バー固定ネジ



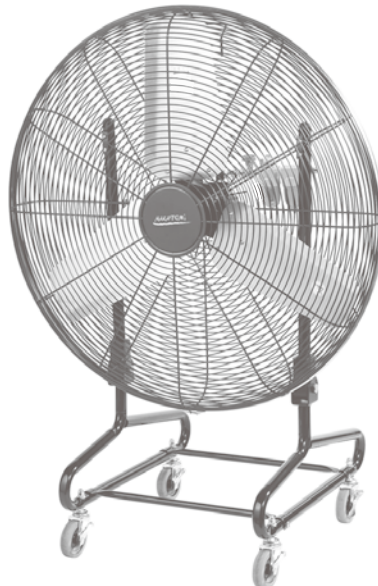
②本体を起し、補強バーを上から取り付けます。



③補強バーと補強バー固定ネジの穴を合わせて①で外した補強バー固定ネジでしっかり締め付けます。

※ネジ穴が合わない場合、各固定ネジを緩め、仮止めの状態で組み立ててから最後に各ネジを締め付けてください。

完成図



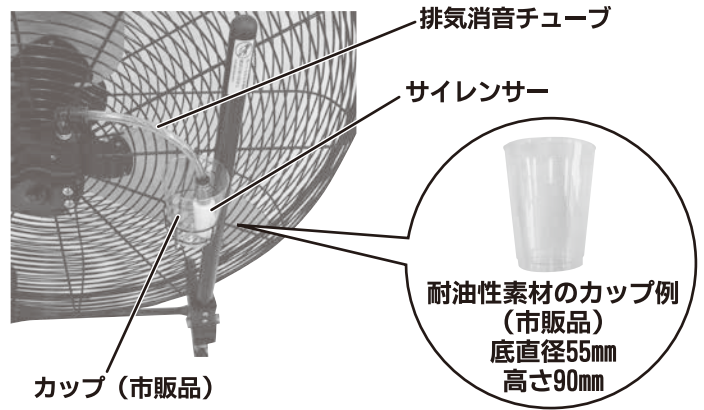
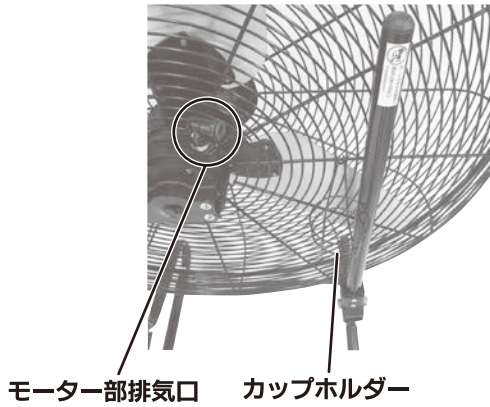
自動給油エアースットの取付け

①後ガードにカップホルダーを取り付けます。

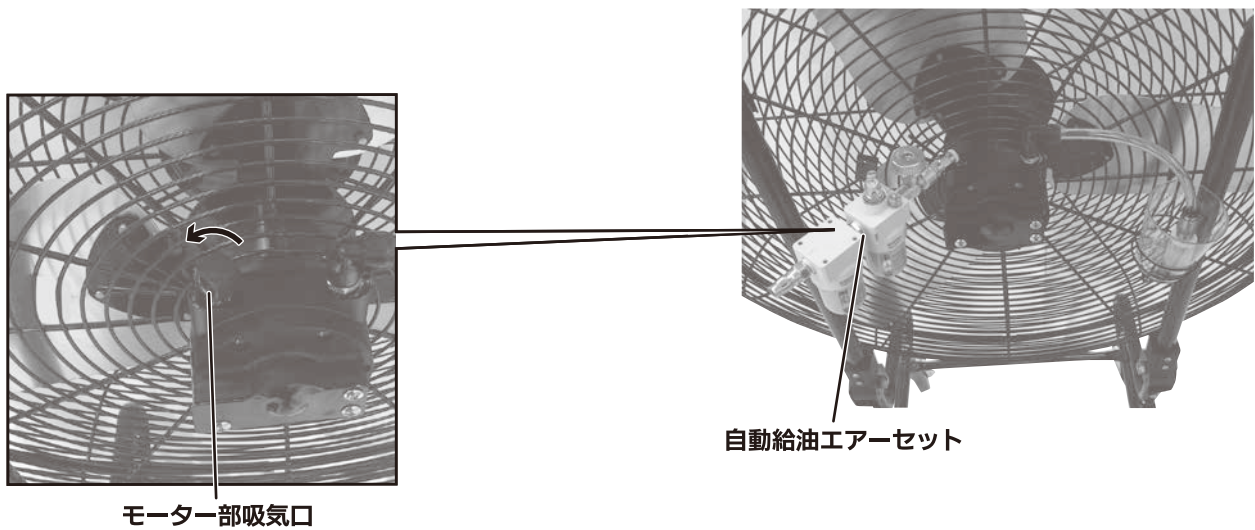
②カップホルダーにカップ（市販品）を置き、モーター部排気口に排気消音チューブを差し込み、耐油性素材のカップ（市販品）の中にサイレンサーを入れます。

※エア漏れがある場合は、付属のシールテープをご使用ください。

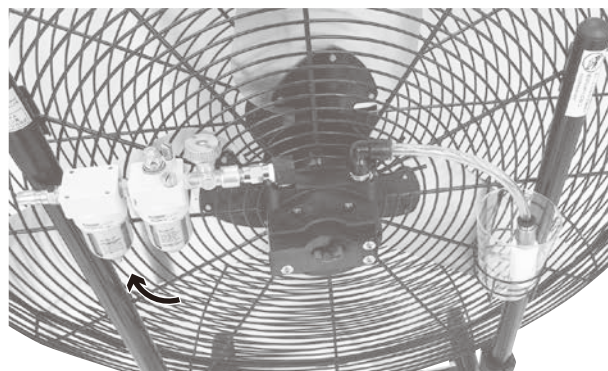
※カップには廃油が溜まります。定期的に捨ててください。



③モーター部吸気口を斜め後ろ方向へ向け、自動給油エアースットを取り付けます。



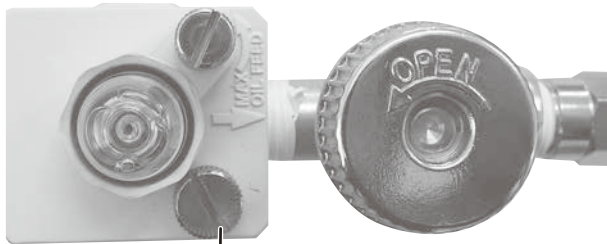
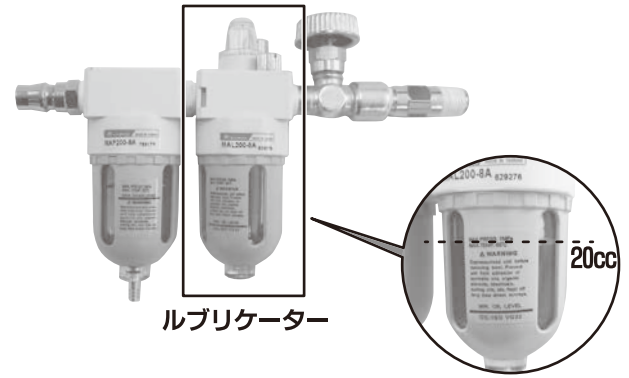
④自動給油エアースットを本体と水平になるように動かします。



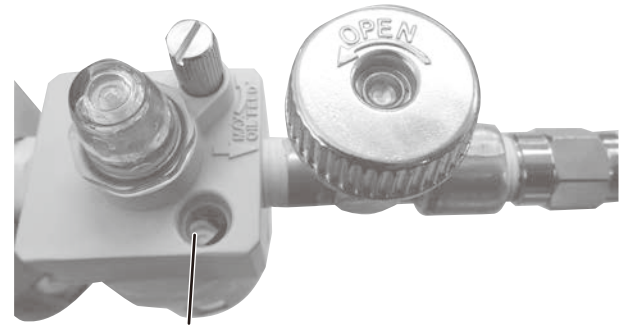
【オイル注入】

・使用前には必ずルブリケーターにオイル（タービン油 ISO-VG32）を給油してください。

- ①オイル注入口ネジを取り外します。
- ②オイル注入口からオイルを注油してください。（注油量:20cc）
- ③オイル注入口ネジを確実に締めてください。



オイル注入口ネジ



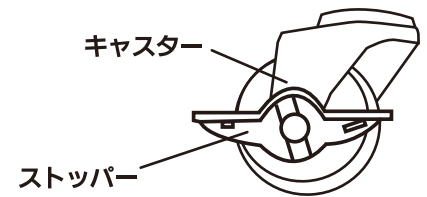
オイル注入口

【使用方法】

	接触禁止	運転中は危険ですので、羽根の中に物や指を入れたり、ガードを外して運転しないでください。回転中の羽根で指が切断される重大な傷害や事故の原因になります。
	設置場所	平らで強度のある安定した場所に設置してください。傾斜のある場所や振動のある場所では使用しないでください。
	接近注意	運転中は本機に近づかないでください。特にお子様は危険です。ネクタイ・手袋・カーテン等が巻き込まれないように注意してください。長い髪は回転部に巻き込まれる恐れがあり危険ですので帽子等を着用して覆ってください。

■キャスター

- ・本体を移動させる時以外は必ずロック状態にしてください。ロックせずに運転を開始すると風圧で本体が動いて危険です。
- ・ロック方法はキャスターの側面に付いているストッパーのON側を押してください。
- ・この状態でキャスターはロックされます。OFF側に押すとキャスターのロックは解除されます。

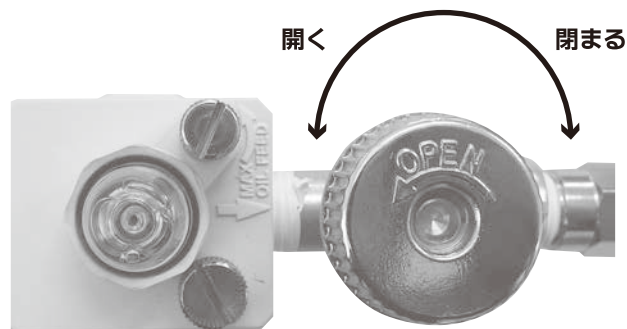


■オイル量点検

- ・運転前には必ずルブリケーターにオイルが入っていることを確認してください。
- ※オイルが不足しているときは、タービン油 ISO-VG32を給油してください。

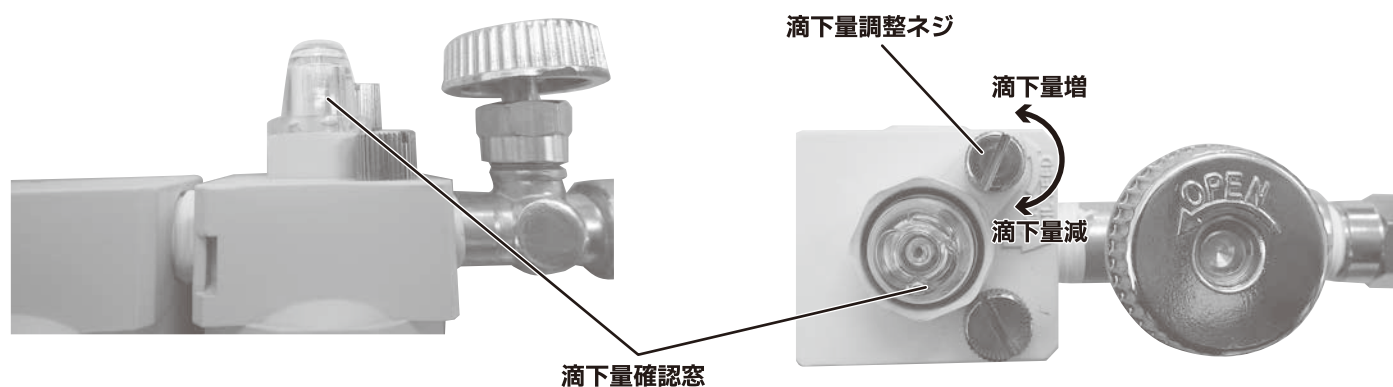
■風量調整

- ・調整バルブの絞りで風量を無段階に調整できます。



■ルブリケーターのオイル滴下量調整

- ・滴下量調整ネジを「MAX」方向に回すとオイル滴下量が増え、逆方向に回すとオイル滴下量が減ります。滴下量確認窓にオイルが垂れていることを確認し、一分間に3～4滴程度垂れるように調整を行ってください。





■首（上方向）の角度調整

- ・上方向の角度調整を行う際は、本体または取っ手を持ち、任意の角度に調整してください。（三段階）
※上方向の角度を調整する際は、調整バルブを閉め、羽根の回転が完全に止まってから行ってください。



【保守と点検】

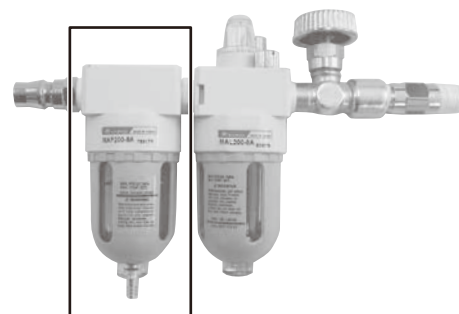
	取扱注意	勢いよく持ち上げたり動かしたりしないでください。本体がバランスを失って転倒し、本体の破損や物的損害・ケガ等の原因となります。
---	-------------	--

	取扱注意	本体や羽根などを拭く場合は、タワシ・研磨剤・ベンジン・シンナー等をご使用になりますと、塗装面の剥離や変形・破損を引き起こしますので、使用しないでください。 羽根に貼付された注意シールをはがしたり、文字を消さないでください。
---	-------------	--

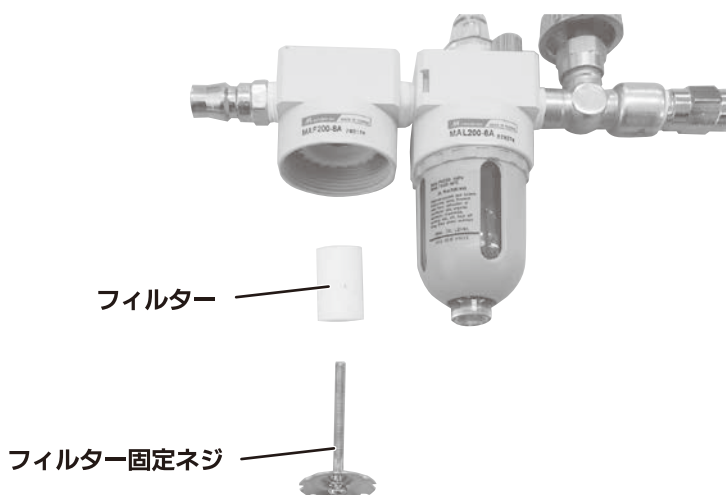
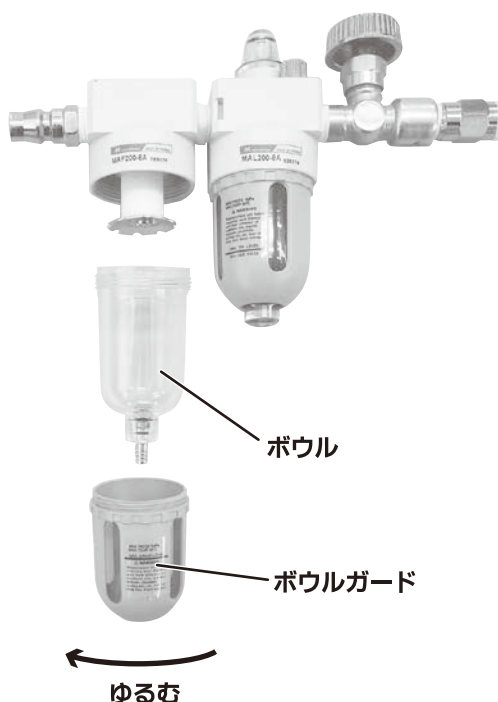
- ・羽根・ガード・モーターにホコリが付着しますと、異常音・振動・モーター過熱などの原因となります。下記手順に従って、各部の清掃を行ってください。
- ・モーター表面のホコリは掃除機で吸い取ってください。
- ・羽根・ガードの汚れは、薄めた中性洗剤に浸して固くしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ・使用しない場合はエアホースを取り外し、ホコリがつかないように本機にビニール袋等をかけて保管してください。

■エアフィルターの清掃

- ①ボウルガードを取り外します。
- ②ボウルを取り外します。
- ③フィルター固定ネジを取り外し、フィルターを取り外します。
- ④フィルターに着いている汚れを取り除きます。汚れがひどい場合は中性洗剤で洗い、乾燥させてください。
- ⑤フィルターにフィルター固定ネジを通して取り付けます。
- ⑥ボウルを取り付けます。
- ⑦ボウルガードを取り付けます。



エアフィルター



【トラブルの原因と対策】

故障の種類	原因	対策
羽根が回らない	オイル切れによる焼き付き	お買い上げ販売店へ修理を依頼する。
	エアーが届いていない／供給不足	コンプレッサーの能力不足を解消する。
	ベーンの破損／消耗	お買い上げの販売店へ修理を依頼する。
	羽根の一部が何かに接触している	羽根に接触しているものを取り除く。
羽根の回転が遅い	オイル不足	ルブリケーターへオイルを注油する。
	エアーが届いていない／供給不足／圧力不足	コンプレッサーの能力不足を解消する。 配管の点検をする。
	エアーフィルターが汚れている	エアーフィルターを清掃する。
	サイレンサーが汚れている	サイレンサーを清掃（中性洗剤で洗浄）する。 サイレンサーを交換する。
	ベーンの破損／消耗	お買い上げの販売店へ修理を依頼する。
音がうるさい	オイル不足	ルブリケーターへオイルを注油する。
	供給エアー圧が高すぎる	空気圧力を調整する。
	サイレンサーが外れている	サイレンサーを取り付ける。
	サイレンサーが汚れている	サイレンサーを清掃（中性洗剤で洗浄）する。 サイレンサーを交換する。
異音がる	羽根の固定ビスがゆるんでいる	羽根の固定ビスを増し締めする。
	羽根の一部が何かに接触している	羽根に接触しているものを取り除く。

◆上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、使用を中止し、お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。

◆ご自分で分解・修理は危険ですので、絶対にしないでください。事故やケガの恐れがあります。

株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-7101

受付時間10:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。